

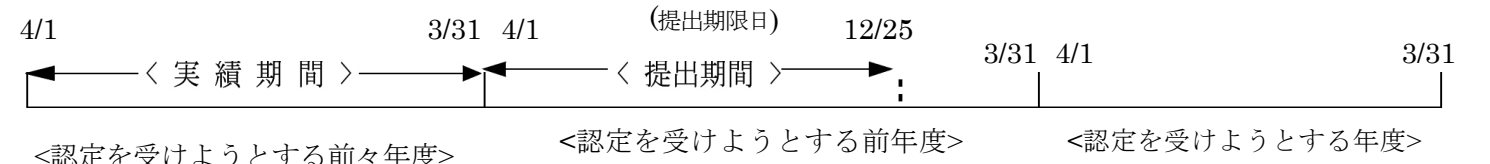
受付
印

< 記載例 >

再生施設認定申請書

滋賀県知事 様		令和3年8月1日
住所 大阪市・・・ ○○工業(株) 代表取締役 滋賀 太郎 氏名 個人番号 1230123456789 ※個人12桁、法人13桁 (法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称、 代表者の氏名および法人番号)		
滋賀県産業廃棄物税条例施行規則第5条第2項の規定により次のとおり申請します。		
認定を受けようとする 中間処理施設等	名称	○○廃プラスチック再生処理工場
	所在地	滋賀県□□□市・・・
	処分業の許可年月日 および許可番号	平成18年○月○○日 第2520000000号
申請に係る 産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
申請に係る 産業廃棄物の処分の方法	破碎	
認定を受けようとする年度	令和4年度	
実績期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日まで	
再生品の種類	再生ペレット	
再生品のうち、実績期間内において 有償で譲り渡した物の重量①	2,247.655 トン (明細は別紙1のとおり)	
再生品のうち、実績期間内において 自ら利用した物の重量②	トン (明細は別紙2のとおり)	
再生品のうち、特に知事が資源の 循環に資すると認めた物で実績期間内 において譲り渡したものの重量③	トン (明細は別紙3のとおり)	
実績期間内に中間処理施設 等から搬出された物の重量 ④	2,293.520 トン	
再生率 (①+②+③) ÷ ④	0.98	
連絡先		
住所(所在地)	氏名(名称および担当者名)	電話番号
滋賀県□□□市●●●●	総務部経理課 大津 次郎	○○○-○○○-○○○

←申請日を記入して下さい。
認定を受けようとする年度の前年度の4月1日から12月25日までに西部県税事務所へ提出して下さい。



←本社の所在地、名称等記入して下さい。

←処分業の許可年月日は、更新された場合はその年月日を記入して下さい。

←規則第8条の表の左欄に掲げる産業廃棄物の種類を記入して下さい。

○再生施設認定を受けようとする滋賀県所在の中間処理施設の名称、所在地、許可番号等を記入して下さい。

○「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第14条第4項に基づく許可を受けている業者の方は、当該許可を受けた産業廃棄物の種類及び処分の方法を記入して下さい。

←認定を受けようとする年度の前々年度の4月1日から翌年3月31日までを記入して下さい。
←年度の途中で、新たに認定に係る種類の産業廃棄物の処分を開始した場合は、別途お尋ねください。

←再生品の名称、品名、規格等を記入して下さい。

←別紙1を添付し明細を記入して下さい。
(重量は別紙1の合計欄①の数値を記入して下さい。)

←別紙2を添付し明細を記入して下さい。
(重量は別紙2の合計欄②の数値を記入して下さい。)

←別紙3を添付し明細を記入して下さい。
(重量は別紙3の合計欄③の数値を記入して下さい。)

←④=①+②+③+処理残さ(埋め立てられる産業廃棄物等)

←小数点第3位以下の端数があるときは、その端数を切り捨てして下さい。
※例示の④2,293.520 - ①2,247.655 = 45.865tは中間処理をした後に埋め立てられた産業廃棄物等の重量となります。処理前の選別で除いたものは含みません。

○現地調査において、重量等記載した内容を確認できる書類をご提示下さい。

○トン未満の端数を処理しないで、重量を記入して下さい。

○別紙が2枚以上になる場合は、それぞれの別表「合計①～③」欄の重量を集計した重量を記入して下さい。

←申請書をご記入いただいたご担当者の連絡先を記入して下さい。

注1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。
2 この申請書は、中間処理施設等ごと、産業廃棄物の種類ごとおよび処分方法ごとで作成してください。
3 この申請書における「再生品」とは、中間処理施設等に搬入された産業廃棄物が当該中間処理施設等で処分された後の有用な物(原材料もしくは部品その他製品の一部として利用し、または製品としてそのまま使用することができる物)をいいます。